



特定非営利活動法人 LOOB JAPAN 2019年度事業報告書



LOOBは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

NPO法人 LOOB JAPAN（現地法人 Love Our Own Brethren Inc.）は、青少年が国を超えて友愛と奉仕の精神を育み、“持続可能な未来の創造に寄与する”をビジョンにフィリピンで活動している団体です。

日本事務局 特定非営利活動法人 LOOB JAPAN
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-24-4 井川ビル2F
ソーシャルビジネスラボ2F
フィリピン事務局 Love Our Own Brethren (LOOB) Inc.
Lot23 Block I 4 NHAII, Mandurriao, Iloilo City Philippines 5000



*本報告書は、LOOB JAPANおよび現地法人 NGO LOOBの活動を連結実績として記載しています。

About Us (LOOBについて)

理念 Our Vision

青少年が、国を超えて友愛と方針の精神を育み、持続可能な未来の創造に寄与する

社会的使命 Our Mission

1. 貧困層の子ども達の教育支援 (Education for Kids) - P4
2. 若者による地域社会貢献 (Experience for Youth) - P6
3. 持続可能なコミュニティ開発支援 (Empowerment for Communities) - P8

大切にしていること Our Value

Friendship (友愛)

Spirit of service (奉仕の精神)

Mutual growth through SHARING and LEARNING (分かち合いと学びから共に成長すること)

SDGs 10の目標

世界を変える持続可能な開発目標 (SDGs) のうち、2019年度は特に以下の10の重点分野で活動を行いました。



1. 概況経緯

私たちL00Bは、2001年にフィリピン・イロイロ市で非政府組織（NGO）として登録し、2014年8月には東京都に登録して草の根の支援活動を行って来ました。「一方的な支援でなく、現地の人と共に学び成長する」をモットーに、国際ワークキャンプ、スタディツアー（研修事業）などを通じて、青少年育成とコミュニティ支援を実施しています。

2. 2019年の実施体制

- ・会員数127名（うち正会員22人、賛助会員71人、特定事業会員34人）
- ・日本：非専従職員2人、インターン4名、ボランティア30人
- ・フィリピン：専従職員10人、インターン4名、ボランティア30人

3. 活動地

2001年の設立以来、西ビサヤ地方パナイ島イロイロ州と隣のギマラス島に注力して活動しています。2019年は下記のコミュニティの他、学校コミュニティとの連携を拡大し、日本の子ども達との国際理解活動を増やしました。

＜ 都市貧困地区 ＞

ごみ処理場周辺コミュニティ、スラム、再定住区などの貧困層が多いエリア

- Brgy. Calajunan, Manudurriao, Iloilo City
- Brgy. Navais, Mandurriao, Iloilo, City
- Brgy. Lanit, Jaro, Iloilo City

＜ 地方貧困地区 ＞

雇用の機会が少なく、行政のインフラサービスが十分に行き届いてないエリア

- Brgy. Namocon, Tigbauan, Iloilo
- Brgy. Pughanan, Lambunao, Iloilo



4. 事業に関する報告（途上国の子ども達への教育支援事業）

A. 貧困層の子ども達の教育支援（Education for Kids）

2019年度は、小学校から高校生までの53名と、大学生2名に対し、学資援助を実施しました。金銭的な理由で学業を諦めることがないよう、Poor but deserving childrenを応援するものです。また週末のインフォーマル教育活動では累計302人が参加しました。



イロイロ市内のカラフナン村、ナバイス村、ナモコン村、ラニット村の4つの地域他、遠隔地のサンタバーバラ町、レオン町にも出張して活動を行いました。

① 学資援助 Educational Support

53名の貧困家庭の子ども達他、前年度のLOOBジュニアリーダーのPresidentだったメリージュンと、児童養護施設出身のロナの2人の大学生の学費を援助しました。

② 子ども英語アクティビティ Weekend Kids English Activity (WeKEA)

子ども達の「英語力・表現力・社会性＝ライフスキル」を伸ばすインフォーマル教育活動では、2019年の参加数は302人（累計）となり、前年度の半分となってしまいました。

Wekeaを開始して13年目となり、子ども達が成長するに従い、年齢層の低い子ども達を引き込むことができなかったのと、スタッフの交代により運営側の引継ぎがうまくいかなかったことが背景にあります。2020年度は既存のコミュニティと活動内容と継続の有無に向けて評価を行う予定です。

子ども達の声

今回のテーマはSDGsを学ぶものでした。学校では耳にしてたけど、Wekeaの活動で日本や英国のボランティアが教えてくれて楽しかったです。私は特に栄養の問題に興味がありました。
クイン（8歳）



4. 事業に関する報告

③ 第15回キッズキャンプ Kids Camp

毎年5月に行っている環境教育キャンプに30名の子ども達を招待しました。今年はキャンプの後に日本人サポーターに向けて発表の場を設け、子ども達の成長を伝えることができました。



子ども達の声

キャンプに参加するのは3回目です。今年はビーチクリーンアップをしたりコンテストをしたりしました。他の地域の子どもと遊べて楽しかったです。また来年も参加したい！
アラベラ 15歳

④ ジュニアリーダー育成プログラム Junior Leader Training Program

13～18歳の中高生が中心にコミュニティリーダーになるべく様々な活動を行っています。今年度は日本の高校生とオンライン交流したほか、お金のリテラシーやHIVについて学び、ごみ処理場のガイドも体験しました。



子ども達の声

2019年度のジュニアリーダー
Presidentに選ばれたCarloです。小学生の時からLOOBの活動に参加しています。たくさんの人の前でプレゼンしたり、他の人の意見をまとめたり、がんばっています。
カルロ 17歳

⑤ 公立小学校の識字教育 Feed me and I Read

LOOBでは10年続けてきたごみ処理場コミュニティでのChild Minding（学童）を終了し、その活動の場を同じ地区の公立小学校に移しました。1年間、小学校5～6年生の識字能力が低い児童に放課後補修授業を行いました。



スタッフの声

アルファベットが
・めない高学年の子もたくさんいましたが、日本人スタッフと協力して授業を工夫しました。1年間を通して子ども達の学力向上に少しでも貢献でき嬉しいです。

ジェサ 25歳

4. 事業に関する報告 (国際理解・青少年育成事業)

B. 若者による地域社会貢献 (Experience for Youth)

フィリピンのユースボランティアと一緒に現地でボランティア活動する国際ワークキャンプや、学び系の英語研修 & ソーシャルアクション (ESAP) & スタディツアー。そしてスカイプで日本とフィリピンを繋ぐ国際理解授業も実施し、日本とフィリピンの**385人**が交流しました。



スタディツアー日本人ボランティア受入

- 2月 SCN07ワークキャンプ 17名
- 2月 MERRY春ワークキャンプ 21名
- 3月 ALPHA春ワークキャンプ 19名
- 8月 ALPHA夏ワークキャンプ 21名
- 9月 ISAPI0ワークキャンプ 20名
- 1月 旭川藤高等学校スマイルプロジェクト5名
- 2月 横浜国際大学 14名
- 3月 ICU劇団“虹” 11名
- 9月 Global Diveスタディツアー16名
- 8月 BRIDE第4回教職員スタディツアー 12名
- 8月 GEST国際協力スタディツアー 12名
- 9月 フェアトレード・スタディツアー 8名
- 9月 神戸学院大学スタディツアー 14名
- 12月 第7回北見藤語学研修 7名

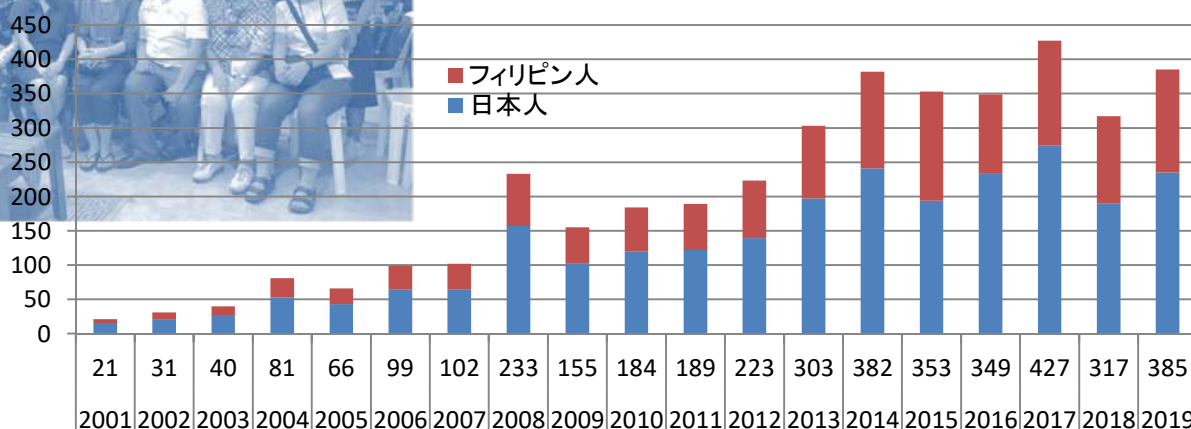
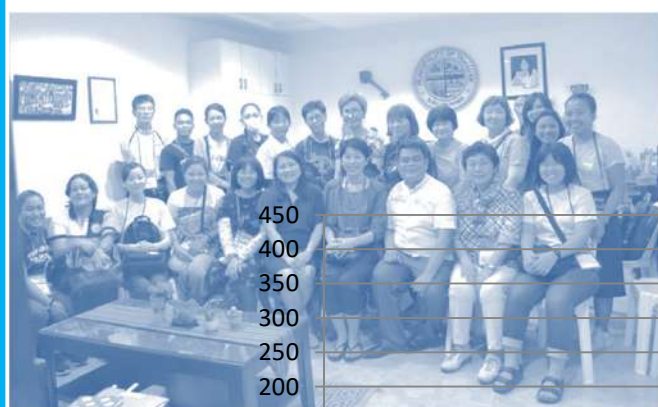
スタッフから

LOOBでは2019年秋に、SDGsを英・で学べる中高生・大学生向けの研修プログラムを開発しました！オリジナルのSDGsテキストやフィールドでの現場体・ができ、少しずつノウハウを蓄積して体系化しています！

2019年度インターン
ゆうじ (21)



詳しくは
次項で。。



4. 事業に関する報告

2019年秋にイロイロ市の語学学校GITC様、日本の株式会社WTWと協定を結び、LOBBの活動地にて現地の方と協働しながら、SDGsを英語で学ぶ『SDGsアカデミア』を発足しました。従来のフィリピン語学留学やオンライン交流はなく、回答のない社会問題について国を超えて一緒に探求し、アクションに繋げる未来教育型の留学×ボランティアプログラムです。

大学機関で確かな英語留学



Green International
Technical College
(GITC)



特定非営利活動法人
LOBB JAPAN



日本アジアの学校を繋ぐ

株式会社
With the World
(WTW)

三者協定のSDGsアカデミア発足後、LOBBが実施している教育・環境・フェアトレードの分野で、現場から学ぶための独自のテキスト本を制作しました。2020年から3年で1,000人の青少年がSDGsを理解し、青少年同士でアクションを宣言していけるよう進めていきます。



参加者の声

一番の経緯はホームステイとごみ処理場でインタビューをしたことです。英語は来た時よりも上達できました！SDGsについて考え、これからも世界の問題について目を向けていきたいです。

あらし (20)



4. 事業に関する報告 (国際理解・青少年育成事業)

C. 持続可能なコミュニティ開発支援 (Empowerment for Communities)

通年通り、ごみ処理場、先住民再定住区、ギマラス島農村部のフェアトレード製品を扱いましたが、生産規模は拡大できず、裨益者の数を増やすには至りませんでした。

協働した
団体数

4団体

● ごみ処理場のコミュニティで制作されるジュースパックは、原料（飲み干されたジュースパック）の入手が難しくなったこと、生産者の高齢化（若者の取り込みに失敗）に伴い生産能力が著しく低下しているもの、日本のニーズが高いことから、今後も継続する予定です。

● アティ族の先住民が制作するニット製品は、11月に福島からデザイナーのプロボノが来てくださり、新しいデザインの開発を行うことができました。しかしプロジェクト2年目ながら、アティ族女性達の組織化が難航し、生産性や品質の改善を進めることができませんでした。来年度は組織化への取り組みをいったん保留とし、作り手の女性と個々人で取引をしていくことで、事業は継続させる予定です。

Popup shop in Tokyo

LOOB JAPAN had a popup shop in May 2019.
We sold many products and introduced Ati's story.



生産者から

ニット（つる）は私が小さい頃、祖母から編み方を教えてもらいました。今、日本人が来たら指の作り方を教えています。そして製品が日本で売られていると、とても誇りに思っています！

マリナ（60）

日本でのフェアトレード推進活動

- 2月【関西】大阪ワンワールドフェスタ2019出展
- 2月【関東】よこはま国際フォーラム講座
- 4月【関東】アースデー東京2019出展
- 5月【関東】エシカルペイフォワード様にてポップアップ
- 5月【関西】アースデー神戸2019出展
- 9月【関東】グローバルフェスタ2019出展
- 10月【関東】よこはま国際フェスタ2019出展

国内インターン制度スタート！

【インターン制度導入前の課題】

L00Bの現地に来る参加者は大学生が多いものの、関東からの参加が少なく渡航前と渡航後の仲間の繋がりを維持することが難しい現状にありました。また、近年の学生の心をつかむスタディツアー企画にも苦慮している現状がありました。

【インターン制度の導入成果】

- ・次年度に繋がるインターンの仕組みが確立できた（募集方法、方向性、予算、会合の頻度など）
- ・関東でツアーの事前研修と事後研修という流れを作れた（仲間/基盤作りの促進）
- ・ツアー参加者からインターンへの感謝や憧れがあふれていた（ロールモデルの確立）
- ・イベントブースの訪問者からは雰囲気の良い団体ですねという声を多く頂いた（イメージアップ）
- ・プログラム説明会や第2期インターンへの応募が急増した（認知度アップ）

【課題、第2期でできること】

来年は、現地のスタッフや日本人インターンとL00B JAPANのインターン間で活動を報告しあったり、日本語やヒリガイノン講座で交流したり、連携が取れる体制ができればと思っています。



インターン第1期生のみなさん、
本当にお疲れ様でした！



2019年度 NP0法人L00B JAPAN 活動計算書 概要（詳細は財務諸表をご覧ください）

●資産の部：4,363,855円

●負債の部：478,853円

●収入：13,751,400円

●支出：12,555,803円

うち事業費 9,255,654円 （総支出の73.7%）

・国際理解・青少年育成事業 2,986,302円

・地域協力・国際協力事業 2,184,555円

・途上国の子ども達への教育支援事業 4,084,797円



LOOB JAPANのスタッフとインターン



LOOB 現地フィリピンのスタッフとインターン

最後までお読み頂きましてありがとうございます。
LOOBはこれからも青少年のエンパワーメントで未来を
創る団体としてがんばっていきます。
今後とも、応援よろしく願いいたします。